

新春を迎えて

—— 各会派の抱負 ——

議会運営委員会を構成する会派の新年の抱負を掲載しています。各会派の構成については、最終面をご覧ください。

安全・安心・安定の

区政の実現を！

練馬区議会自由民主党 (17人)

区民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。平成31年が、皆さまにとりまして、そして、わが国にとりまして素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。また、日頃より練馬区議会自由民主党にお力添えを賜り、心から感謝を申し上げます。

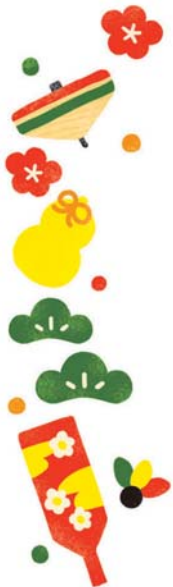
さて、昨年を振り返りますと、区内を襲ったゲリラ豪雨災害や、観測史上初の摂氏41・1度を記録した「命の危険がある暑さ」が続くなど、多くの自然災害に見舞われた年でした。

練馬区議会自由民主党は、責任ある立場から、単なるパフォーマンスに終始することなく区政を牽引し、安全・安心で安定した区政を実現してまいります。これからは73万区民の暮らしの充実を図るため、福祉・医療・高齢者・子育て・都市基盤整備・都市農業を含めた産業振興・商店街振興など全てにおいて、さらなる施策を講じてまいります。喫緊の課題としては、近年の「暑さ」への対策として、災害時には避難拠点となる区内99か所の小中学校の体育館に、空調設備(エアコン)をわが会派が中心となり、可能な限り早期に全校に設置いたします。

昨年末に前川区長から「第2次みどりの風吹くまちビジョン(素案)」が提示されました。わが会派は、そのビジョンの実現に向け、共に責任を果たすとともに、さらなる政策の提言をしてまいります。とりわけ以下を重点項目といたします。①子どもたちの笑顔輝くまち②高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち③安心を支える福祉と医療のまち④安全・快適、みどりあふれるまち⑤いきいきと心豊かに暮らせるまち⑥区民とともに区政を進める。

練馬区はみどりに恵まれた住宅都市であります。練馬区の将来と子どもたちの未来を見据え、責任を果たすべく、行財政改革を断行いたします。

本年5月1日から、「平成」から新たな元号に改元されます。練馬区議会自由民主党は引き続き、練馬区政発展と福祉向上を目指し、全力で政策実現に邁進することをお約束し、年始のご挨拶とさせていただきます。



住みやすさNo.1の練馬へ！

練馬区議会公明党 (12人)

新春を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。皆さまには、日頃より公明党をご支援いただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、酷暑、風水害、大地震等の自然災害が猛威を振るいました。練馬区では、気温が観測史上最高の39・6度を記録し、また、集中豪雨により108棟の浸水や台風24号による樹木の倒壊等の被害が発生しました。今後の防災対策のさらなる強化拡充が課題となりました。

そのような中、昨年4月に前川区長が再選され2期目の区政運営が始まりました。グラウンドデザイン構想の実現に向け、第2次みどりの風吹くまちビジョンの策定が進められています。

練馬区議会公明党は「現場第一主義」をモットーに、常に地域住民の声を丁寧な受け止め、その声を政治に届けるために全力で働いてまいりました。今後とも、住みやすさNo.1の練馬を構築するため、皆さまの声をしっかりと受け止め、政策に反映させてまいります。

特に、猛暑対策として避難拠点の小中学校体育館の空調設備の早期整備、通学路の防犯カメラの拡充、また防災減災対策の強化、高齢者・障がい者施設の整備、病院整備と新病院の誘致等、さまざまな課題に取り組みでまいります。本年は公明党結党55周年の節目を迎えます。「大衆と共に」の結党精神を胸に、一丸となって働いてまいります。力強いご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本年は憲法と平和を守るチャンス

日本共産党練馬区議団 (6人)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

安倍首相によって消費税増税や憲法改悪の号令が繰り返される一方、国会軽視と民意無視の暴走が深刻さを極めていきます。区民からも生活困窮の悲鳴があがるなか、暮らしに寄り添った区政の実現がいまほど求められているときはありません。練馬区は、公共施設の統廃合や民間委託で行政の責任を放棄する一方、多額の税金をつぎ込む再開発や、半世紀以上も前に計画されたうえ住民の反対も強い大型道路の建設には固執する姿勢を見せています。

日本共産党練馬区議団6人は区民の声を耳をかたむけ、社会福祉に立脚した、命と人権が最大限に守られる区政を目指し、本年も全力を尽くす覚悟です。

常態化する「想定外」に立ち向かう

練馬区議会国民民主党・無所属クラブ (4人)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新たな年を迎え、区民の皆様にとって素晴らしい年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。昨年の世相を表す漢字に「災」が採択されるほど、日本各地で災害、異常気象が頻発した年でありました。我が会派としても昨年の災害を受け、学校体育館の空調機設置やブロック塀の緊急点検などを求め、実際に前に進んでまいります。これからは常態化する「想定外」の災害に対応すべく、積極的な防災対策を進めてまいります。本年も引き続きご指導賜りますようお願い致します。

戦争のない平和な未来を子ども達に

生活者ネットワーク (3人)

昨年は地球温暖化による自然災害や、プラスチックごみの海洋汚染など、わたしたち人間の生活が引き起こした環境破壊がますます深刻な状況になりました。一人ひとりが生活スタイルを見直し、豊かな自然環境を取り戻すとともに、憲法をまもり、戦争のない平和な未来を子ども達に残していくよう、練馬から発信していきます。

まちづくりは住民主権のもとです。自治の実現をめざしてみなさんとともに活動します。

市民の声に耳を傾ける区政へ

市民の声ねりま (3人)

12月に公表された練馬区の長期計画「ビジョン」案を読みなながら年が明けました。華やかな企画や目新しい事業の一方で、日々の暮らしの苦しさや貧しさに寄り添う姿勢は伝わってきません。介護家族の悲鳴や「保活」に振り回される保護者の苦悩、安い給料と厳しい仕事に心身をすり減らす区民のことをもっときちんと考えたい。緑を守る目標から数値が消えたのも気がかりです。練馬生まれの地域政党の卵として、市民の声ねりまは今年もがんばります。